

## 事業実績書

団体名	鑄銭司自治会 (鑄銭司まちづくり協議会)
-----	-------------------------

### 1 地域づくりの活動方針(テーマ)

「みんなでつくろう 明るい鑄銭司」をキャッチフレーズに、地域住民と各団体が協力して住みよい地域づくりを推進する。

### 2 今年度、重点的に取り組んだ視点(事業)

①	視点	郷土読本の制作		
	事業名	地域学習事業	決算額	1,727,000円
②	視点	文化財、史跡をわかりやすく巡ることができる環境づくり		
	事業名	地域資源PR事業	決算額	299,338円
③	視点	地区民全員が気軽に参加できる行事の推進		
	事業名	地域振興・交流事業	決算額	543,689円

### 3 今年度の重点的視点(事業)に対する評価

検証(成果、来年度以降への改善点等)	自己評価
①地域を知り誇りをもって次世代につなぐことを目的に、28年前に発刊された郷土読本「鑄銭司」を更新し、鑄銭司地域内全戸に配付するため、19人の編集委員をはじめ、山口市などの協力を得て完成することができた。	◎
②大村益次郎の史跡を巡る古地図散歩のコースを3種類設け、ボランティアガイドを行い62人の参加があり地域外に情報発信することができた。	◎
③イルミネーション点灯式やふるさとまつりなど、地域住民に幅広く楽しんでもらえる行事を開催することが出来た。	○

◎(大変よくできた) ○(概ねできた) △(課題が残った) ×(全く出来なかった)

### 4 総括

第2次地域づくり5カ年計画の最終年であり、風鎮祭など、第1次計画からの継続事業については順調に実施することができた。第3次地域づくり5ヶ年計画については、平成31年(令和元年)度の計画を踏襲しながらこれまでの反省を踏まえてしっかりと策定する。

## 5 事業内容

### (1) 協議会運営

事業費	4,725,713円
事務局の 運営体制	<p>(事務員等の雇用人数) 事務局長:1名 事務員2名</p> <p>(運営費の主な内容) 事務局人件費、事務費</p> <p>(成果・評価) 事務局長1名、事務局員2名で協力して地域づくり業務にあたり、効率的かつ確実な事務局運営を行うことができた。</p> <p>(今後に向けて) 各部会事業の企画段階から関連する各関係団体の代表者に参画してもらい、会議運営の効率化を図る。</p>

### (2) 地域振興

事業名	地域情報発信事業
事業費	96,919円
事業概要	<p>(実施内容) ①広報誌発行 ②ホームページの内容充実</p> <p>(実施時期) ①通年 ②通年</p> <p>(参加人数) ①750世帯・企業51社</p> <p>(成果) ①自治会通信5回発行・自治会報(総会報告書)1回発行。 ②ホームページへの自治会通信アップロード(5回)</p> <p>(評価) 地域づくりに関する活動内容を地区民に周知してもらうため、広報誌やホームページを活用し、理解と協力が得られた。</p> <p>(今後に向けて) 分かりやすく、楽しんで読んでもらえる広報誌作成のため、写真などの情報収集や勉強会等にも積極的に参加していく。</p>

事業名	地域振興・交流事業
事業費	543,689円
事業概要	<p>(実施内容) ①地域行事等の運営の支援 ②地域と企業との交流事業開催</p> <p>(実施時期) ①11月 ②1月</p> <p>(参加人数) ①1200人 ②58人</p> <p>(成果) ①地域最大のイベントである、ふるさとまつりを共催し、地元企業と地域住民相互の交流が図れた。また、まつりの中で地域功労者4名を表彰した。中山間事業の一環として益次郎豆腐を販売した。恒例となったクリスマスイルミネーションフェスティバルには子供を中心に約200人の参加があった。その後12月1日から翌年1月13日までイルミネーションを点灯し、地域内外から多くの人々が訪れたことにより地域が盛り上がった。 ②新年互例会を開催し、詩吟や舞踏、鑄銭司第二団地についての説明などで、大いに盛り上がった。</p> <p>(評価) ①まつりで功労者を広く紹介し労うことができた。また、益次郎豆腐を販売したことで、地域の特産品としてPRすることができた。 ②地域内企業と地域住民との交流事業が継続出来ており、地域づくり活動への理解と協力が得やすい場づくりとなった。</p> <p>(今後に向けて) ①地域づくりに貢献された個人・団体の表彰を続けていく。 ②地域内企業と地域住民との交流事業を継続するとともに参加企業の拡大を図っていく。</p>

### (3)安心・安全

事業名	犯罪に備える設備等の充実事業
事業費	310,741円
事業概要	(実施内容)①新規防犯灯設置等 (実施時期)通年 (参加人数)80灯及び申請件数  (成果)防犯灯新設1灯、補修1灯を実施するとともに、地域内防犯灯の維持・継続ができた。  (評価)地域内の防犯灯は正常に機能を発揮し、地域住民の安心安全につながっている。  (今後に向けて)防犯灯が新たに必要な所は無いか、また、不要になった防犯灯が無いかについて点検する。

事業名	防災活動推進事業
事業費	9,130円
事業概要	(実施内容)防災訓練の実施 (実施時期)2月 (参加人数)158人  (成果)二巡目の最初の地区の訓練であり、現地対策本部(交流センター)と小地区防災本部(単位自治会)が連携を取るために、4単位自治会に分かれ、それぞれの自治会で決定した避難所に避難する訓練を実施した。  (評価)単位自治会が主体的に災害想定を行い、緊急連絡網の整備、連絡がつかなかった世帯への安否確認、避難所への誘導など、それぞれの地区で考えた防災訓練になった。  (今後に向けて)今回同様、各単位自治会が災害想定、緊急連絡網整備、避難所の決定を行う形で地区主体の訓練を実施する。

事業名	交通安全推進事業
事業費	12,108円
事業概要	(実施内容)春の全国交通安全運動期間中に警察や交通安全協会と連携して、鑄銭司地域内の幹線道路で交通安全マスコット等の配布を行った。  (実施時期)5月 (参加人数)30人  (成果)地域サークルの協力により製作した、交通安全マスコット、交通安全ストラップを配布し、交通事故防止に向けた活動を行った。  (評価)地域内を走行するドライバーに交通安全マスコットを渡して安全運転を呼び掛け、交通事故防止の啓発が図れた。  (今後に向けて)5月に実施したため降雨により学生などが参加出来なかったことから、実施時期を秋に変更する。

(4) 環境づくり

事業名	土木工事(法定外公共物)
事業費	3,957,000円
事業概要	(実施内容) 単位自治会からの要望申請で道路補修工事及び水路工事等に対応。 (実施時期) 通年 (成果) 生活道路の舗装4件、農業用水路の改修2件 (評価) 生活道路の劣化及び老朽化した水路の修復が実施できた。 (今後に向けて) 地域内の要望を把握し、随時対応していく。

事業名	環境整備事業
事業費	218,915円
事業概要	(実施内容) ①地域一斉清掃活動の推進 ②芝桜の管理など花づくり活動の推進 (実施時期) ①11月 ②9月、2月 (参加人数) ①150人 ②8人、120人 (成果) ①通学路や歩道に伸びた草木の伐採や放置されたゴミ等を軽トラ3台分撤去した。 ②長沢池の芝桜の整地と芝桜200株を補植した。 (評価) ①環境美化活動を通して企業と地域住民との交流が図れた。 ②地域の子どもからお年寄までが参加して、芝桜の植栽や草取りを行うなど、環境美化活動を通じて三世代交流が図れた。 (今後に向けて) 鑄銭司を訪れる人々が「きれいで花を愛する地域」と感じてもらえるよう、地域交流を図りながら、美化活動・花のある地域づくりを継続する。

(5) 地域個性創出

事業名	地域資源PR事業
事業費	299,338円
事業概要	(実施内容) 後世に残すべく貴重な資源の発掘 (実施時期) 3月 (参加人数) 750世帯・51社・14施設 (成果) 地域に関連する史跡写真が入った、地域行事の予定を記載したカレンダーを750世帯、51事業所、14施設に配布した。 (評価) 地域行事日程を知ってもらうことで、自治会活動への理解と協力を得られ、同時に地域内の史跡について若い世代に再認識してもらえた。 (今後に向けて) 地域の主要な行事が確認できるカレンダーとして、地域行事や活動に参画する人の拡大につなげていく。

事業名	伝統文化の継承
事業費	385,483円
事業概要	<p>(実施内容)①風鎮祭「盆踊りの夕べ」開催 ②伝統芸能伝承活動への支援</p> <p>(実施時期)①8月 ②5月～11月</p> <p>(参加人数)①250人 ②80人</p> <p>(成果)①地域団体の協力により、多くの参加者があり、地域住民相互の交流が図れた。 ②鑄銭司のみに伝わる「笠踊り」を単位自治会の祭りや小学校運動会において披露し、伝承活動の継続と継承者の育成が図れた。</p> <p>(評価)①盆踊りの夕べを通じて世代間の交流が図れ、若年層に対しては地域づくり活動に興味を持つきっかけづくりになった。 ②鑄銭司小学校の教員、生徒と練習会を開催するなど、伝承活動を継続実施した。</p> <p>(今後に向けて)運動会やまつりなどで笠踊りをPRする機会を増やし、盆踊り等の交流の場を通じて、地域の貴重な伝統文化の継承を図る。</p>

(6) 地域学習事業

事業名	郷土読本の制作事業
事業費	1,727,000円
事業概要	<p>(実施内容)郷土読本「鑄銭司」の更新。</p> <p>(実施時期)4月～3月</p> <p>(参加人数)19人、750世帯</p> <p>(成果)編集委員19人が中心となり、山口市などの協力を得て、郷土読本「鑄銭司」の更新版を完成することが出来た。</p> <p>(評価)28年前に発刊された郷土読本「鑄銭司」の内容を現代に合うように更新し、郷土本として地域の財産とすることが出来た。</p> <p>(今後に向けて)鑄銭司小学校で郷土本として活用するとともに、鑄銭司地域の全戸に配布して、地域を知り誇りをもって次世代につなぐ取組みを行う。</p>